

山行報告書

日時	2016年 8月11日(木)～16日(火)	天候	8/11～8/14晴れ 8/15曇り
山名	北アルプス(針ノ木岳～船窪岳～烏帽子岳)		
CL	阿部(功)	参加者	(単独行)
(コース)	<p>[1日目(8/11)] 博多駅8:04=(新幹線)=名古屋=(高速バス)=松本=(JR)=信濃大町=(バス)=17:50扇沢</p> <p>[2日目(8/12)] 扇沢5:00・・・(針ノ木雪渓)・・・11:10針ノ木峠・・・13:10針ノ木岳・・・14:10針ノ木峠 (テント泊)</p> <p>[3日目(8/13)] 針ノ木峠5:00・・・6:30蓮華岳・・・10:00北葛岳・・・12:40七倉岳・・・13:30船窪小屋(小屋泊)</p> <p>[4日目(8/14)] 船窪小屋4:50・・・6:10船窪岳・・・11:30不動岳・・・13:50南沢岳・・・15:00分岐・・・15:30烏帽子岳・・・16:30烏帽子小屋(テント泊)</p> <p>[5日目～6日目(8/15～16)] 烏帽子小屋5:00・・・(ブナ立尾根)・・・8:30高瀬ダム 高瀬ダム8:30=(タクシー)=信濃大町=(JR)=松本=(高速バス)=名古屋22:15=(夜行バス)=10:00博多駅</p>		
(コメント)	<p>[1日目(8/11)] 移動のみ</p> <p>[2日目(8/12)] 日本3大雪渓の針ノ木雪渓を登るつもりだったが、雪が全くなく、夏道を登ることになった。とにかく暑い。 針ノ木峠に到着後、直ぐにテントを設営し、その後、針ノ木岳をピストンした。12時前なのに、既に多数のテントが設営されている。テント場は、比較的狭いので注意が必要。 針ノ木岳の山頂からの立山/剣岳の展望が素晴らしい。</p> <p>[3日目(8/13)] 蓮華岳の登りは比較的緩やか。その後の「蓮華の大下り」は、峠まで約500mを急降下し、北葛岳へ約300mの登る。その後の北葛岳と七倉岳の高度差はほぼ同一。距離もそれほどないため、コースタイムの2時間は本当か? と思いながら進むと、意味が分かった。地図で読めないコブがいっぱいあって、しっかり2時間の行程になる。 やっと七倉岳に辿りつくと、船窪小屋までは緩やかな下りで順調だった。 船窪小屋は、A山さんお勧めの宿で、会おう人がみんな一度は泊まってみたくらいあって快適な小屋だった。 小屋に到着し、受け付け手続きの前に湯飲みのお茶が出て感激。夕食は、テラスのテーブルで、揚げたての山菜天ぷら、踏みそ付き冷奴、山菜の煮物・・・等々のご馳走に舌鼓。</p> <p>[4日目(8/14)] 船窪岳の登りは、早朝なのに直射日光を受けて、非常に暑い。その後の不動岳、南沢岳への縦走は、時間も掛かり、厳しい山行が続く。南沢岳に到着すると、その後は、池やお花畑が点在する緩やかな道を進む。烏帽子岳への分岐に到着すると、ここからの烏帽子岳の姿は秀逸。分岐から烏帽子岳へピストンする。山頂は、1人の人が立つのが目一杯な狭さ。 実行動8時間超の行程は、本当に大変だった。</p> <p>[5日目～6日目(8/15～16)] ブナ立尾根は傾斜は急だが、暖急があり、道も比較的良いため、1200m高度差も順調に下ることが出来た。 高瀬ダム到着するとジャンボタクシーが待機しており、同時刻に到着した5名相乗りで、信濃大町へ一気に移動。信濃大町では、駅近くの旅館で降りて貰い、一風呂浴びることが出来た。 その後は、JR、高速バス、夜行バスを乗り継いで、8/16博多駅へ帰着した。</p>		
費用概算	(交通費)約37,000円 (小屋泊)9,200円 (テント泊)1,300円 (食料、食事等)約15,000円 (その他)お風呂500円(信濃大町)		

(2016.01.27改訂)

